

首都直下地震を想定した
避難訓練・引渡し訓練の手引き



さいたま市立本太小学校

1 目 的

- (1) 首都直下地震が発生した際の避難行動を徹底させるとともに、各家庭への引渡し方法を確認し、緊急時の安全で迅速な対応力を養う。【児童】
- (2) 首都直下地震が発生した際の停電等を想定した状況下で児童の安全と生命を守るための避難行動を確認し、各家庭への引渡し方法を実際の行動を通して確認する。
【教職員】
- (3) 首都直下地震が発生した際の児童の引渡し方法をより実践的な訓練の場で確認するとともに、学校から家庭までの経路で危険個所について確認する。【保護者】
- (4) 首都直下地震が発生した際の児童の安全と生命を守るために、学校・保護者・地域でどのような連携行動ができるか、確認する。【地域】

2 首都直下地震発生時に留意すること

- (1) 直下地震が発生すると停電となるため、放送機器は使用できない。

→学年毎に拡声器を使います。

- (2) 過去の大地震では、学校の校舎が倒壊した事例はない。さいたま市立学校は、耐震工事施工済みであり大地震が発生しても、教室は安全である。

→各教室が児童の避難場所となります。

- (3) 実際に大地震が発生すると、気を失ったり、腰が抜けてしまったりして動けなくなる人がいる。

→教職員で誘導係を分担します。

- (4) 余震が続き、地震の警戒警報が鳴り続ける。

→児童の避難行動を徹底させます。

3 学校の基本的な動き

- (1) 学校は、首都直下地震が発生した際、各教室へ避難させ、児童の安全を確保します。
- (2) 学校は、発生後30分間で引渡し体制を整えます。
- (3) 学校は、各教室で引渡しを順次行います。
- (4) 学校は、地震発生後2時間を目安に、「自身の家族の引き取りのために自宅へ帰宅する教職員グループ」と「学校に留まり、児童の安全確保及び避難者の対応をする教職員グループ」に編成します。
- (5) 学校は、避難所運営委員会と連携して、避難所運営に参画します。

4 日時

令和8年5月22日（金） 5校時 13：35～14：20

※ 雨天実施。天候に関わらず、教室で引渡しを行います。

※ 学童を利用している児童については、当日「学童指導員」に引き取りをお願いします。

5 引渡し場所
各教室

6 引渡しのきまり

(1) 「引渡しカード」の記入について

①第1引き取り人

原則として保護者の氏名を記入してください。

※**本太学童クラブ（月、光、星）**に通う児童は、第1引き取り人欄に「学童指導員」と記入してください。原則、所属する全ての児童を指導員に引渡します。ただし本太学童クラブの職員は10時出勤のため、10時前に大地震が発生した場合は、児童を学校で待機させます。

~~※**本太小放課後みんなのひろば（白）**に通う児童は、保護者（第1引き取り人）への引渡しです。~~ →指導員（体育館）

※**その他の学童クラブ**に関しては、保護者が直接学童に確認し、記入してください。

②第2・3引き取り人

第1引き取り人が引き取り困難になった場合、徒歩で確実に引き取りが可能な人の氏名を記入してください。（近所に住む親戚、知り合い等）

(2) 引渡しについての基本的なルール

- ・引渡し体制を整えるため、**地震発生後30分以降**に引渡しを開始いたします。
- ・**本太学童クラブ**に通う児童は、学童指導員に教室まで引き取りにきていただきます。
- ~~・**本太小放課後みんなのひろば**に通う児童は、保護者または、第2・3引き取り人に引き取りをお願いします。~~ →指導員（体育館）
- ・おおぞら学級の児童が交流学級に行っていた際は、担任が交流学級へ迎えにいき、おおぞら学級の教室で、保護者への引渡しを行います。
- ・教科担任制の高学年についても、自分の教室で各担任が引渡しを行います。

※兄弟姉妹が在籍しているご家庭は、混雑状況に応じて、どちらを先に引き取っていただいてもかまいません。

~~※**中学生の兄弟を、学童指導員と一緒に引き取っていただくか否か、事前に保護者の方から、学童にご連絡ください。**~~ ※学童は、中学生を引き取らない。

7 事前指導等

○緊急時に対応できる体制を早めに整えるため、**4月10日（金）までに**「災害時児童引渡しカード」が入っているファイルの上にクラス名簿を挟んでおく。

○当日、学童指導員が引き取りをする児童を担当が把握しておく。

○中学生の兄弟が来る児童を担当が把握しておく。（**親が来るまで一緒に待たせる。**）

児童への指導

○緊急地震速報が鳴った後の身の守り方について

（速やかに机の下に入って頭を守る等の指導をする。）

○防災頭巾の使用方法について

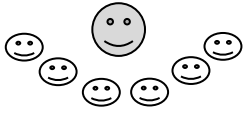
○教室での引渡し訓練について

保護者の皆様へのお知らせ

○引渡し訓練に関するお知らせと手引を配付させていただきます。今回の引渡し訓練の意義や当日の動き等についてご確認ください。

8 当日の展開

主な活動・ 本部職員・学年主任の動き	担任の動き	児童の動き	時刻
1 訓練実施のお知らせを「学校安心メール」で流す。学童にも連絡をする。【教頭】	○事前指導を行う。緊急地震速報がなった時の身の守り方と、引渡しの仕方を児童と確認する。 (訓練) 首都直下地震発生時刻 13:35	○事前に、靴を袋に入れて教室に置く。帰りの支度も済ませ、ロッカーに荷物をしまっておく。帰りの会も済ませる。	8:30 ~13:35
2 緊急地震速報を鳴らす。 【教頭】 ※地震で停電した想定で、校内放送は使わない。各学年の拡声器を活用して教室への避難を呼びかける。【学年主任】	○児童を机の下にもぐらせ安全を確かめ、出口を確保する。 (ドア、廊下の窓を開ける。) 必要な場合 ・ガスの元栓を閉める。 ・コンセントを抜く、電源を切る。 余震対応	○指示に従って机の下にもぐり、身をかがめて机の脚を持つ。	13:35
3 余震対応【学年主任】 今後の余震に備え、静かに教室で待機するよう各学級へ拡声器を活用して指示する。	○児童を椅子に座らせ、今後も余震の恐れがあることを伝える。防災頭巾を被り、静かに待つよう指示を出す。	○指示に従って椅子に座る。防災頭巾を被り、静かに教室で待機する。	13:37
4 緊急地震速報を鳴らす。 余震【教頭】	○緊急地震速報がなった際には、児童を机の下にもぐらせ、安全を確かめ出口を確保する。	○指示に従って机の下にもぐり、身をかがめて机の脚を持つ。	13:39
5 避難解除を知らせる。	○揺れがおさまったら…	○指示に従って椅子に座る。防災頭巾をしたまま、静かに教室で待機する。	13:41

6 人員確認【学年主任】 ○学年主任は拡声器で人員確認のアナウンスをする。 人員確認の順序 ① 組 ② 在籍人数 ③ 欠席、早退等の人数 ④ 現在の人数 例 「○組。33 名中 1 名行方不明で、現在 32 名。」 人員確認 担任 → 学年主任→ 教頭・教務→ 校長 ○教頭・教務は「sola ルームの活用はありませんか。」と必ず確認をする。 ○保健室にいる児童を養護教諭が送り届ける。 ○校長から学年主任へ引渡しへの指示を行う。 ○教務主任が学年主任に、学年分の『災害時児童引渡しファイル』を渡す。 ※保護者の方は、教務主任の合図があるまで、昇降口付近で待機願います。	○担任は、クラスの人員数、状況を学年主任に伝える。 ○人員確認後、【誘導係 1】は対策本部へ集合し、教務主任から不明者の有無を確認する。不明者がいた場合は、直ちに搜索に当たる。 ○搜索開始から 20 分間は各学年の【誘導係 1】が搜索に当たる。それでも見つからなかった場合は、本部の教員が搜索を引き継ぐ。 ○教頭は【誘導係 1】に対策本部に戻る時間を伝える。 ○【誘導係 1】は搜索した結果を教頭・教務主任に伝える。 ○本太小放課後みんなのひろば児童を、体育館に移動させる。	○教室内で静かに座って待つ。(学年の実態に応じる) 救助係集合場所 2 階渡りろうか 対策本部前 教頭・教務  誘導係 1	13 : 42
7 引渡し開始の伝達【教務主任】 「今から教室で児童の引渡しを行います。保護者の皆様、お子様の学級で担任より引き取りをお願いします。」 ※保護者の待機状況によっては、臨機応変に教室へ誘導する。 ※本部職員は職員室で緊急持ち出し物などを確認する。 ・緊急持ち出し物【教務主任】 ・職員室待機【校務】 ・拡声器、本部旗、	○担任は、児童氏名・引き取り人名を確認し、保護者に引き渡す。引渡し時に、『災害時児童引渡しファイル』に入っている「クラス名簿」にチェックをする。 ○児童を席に座らせたまま、名前を呼ばれたら荷物を持って廊下に来よう指示をする。 ※中学生の兄弟生徒が「小での引渡し」となっている場合は、中学生の兄弟も一緒に教室で待機させ、引渡しを行う。 ○各担任は学年主任へ引渡し完了の報告を行う。	○荷物を手元に準備する。 ○担任が呼ぶまで座って待つ。 ○引渡し完了後、引き取り人と下校する。 ○近くの出口から下校する。 ○上履きの状態で、靴は持って帰る。	14 : 03 ～ 14 : 05 ～
	引渡し開始 14 : 05		

・AEDの持ち出し【事務】 ※教頭は職員室で待機し、学年主任から引渡し完了の報告を待つ。 ※事務は職員室前へ、本部旗を移動させる。 8 引渡し完了の報告	○引き取りがない児童は、保護者が来るまで待機させる。引き取りがない児童の保護者に、学年内で引き取りが完了しているクラスの担任が、電話連絡をする。		
引渡し完了の報告 担任 → 学年主任 → 教頭 → 校長			
9 引渡し終了	○本太小放課後みんなのひろば児童は、体育館から、さくら草・家庭科室へ。		15 : 00頃まで
10 職員の配置確認【教頭】	○自宅へ帰宅する教職員と学校に留まり、児童の安全確保及び保護者の対応をする教職員の確認を行う。		15 : 35
11 振り返り① ○管理職、安全主任・副主任で反省会を行う。			
12 振り返り②	○教職員で反省会を行う。		

9 その他

- ・緊急持ち出し物の搬出（災害時児童引渡しカードのファイル）【教務主任】
- ・保護者の誘導・整列【教務主任】
- ・拡声器の準備、本部旗用意、AED用意【事務】
- ・保健室で休んでいた児童を教室へ送る【養護教諭】
- ・職員室待機【校務】

10 当日の確認事項

- ・「震度5弱以上の地震があった場合、教職員は参集しなければならぬ。」という旨を、再度確認する。
- ・自宅へ帰宅する教職員と学校に留まり、児童の安全確保及び保護者の対応をする教職員の確認を行う。（一度帰宅したら、再出勤は行わない。）